

ブリistol・マイヤーズ スクイブ、「PRIDE 指標 2023」ゴールドを初受賞

ブリistol・マイヤーズ スクイブ株式会社は、職場における性的指向・性自認に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2023」において、最高ランクの「ゴールド」認定を獲得しました。「PRIDE 指標」への申請は今回が初めてであり、初のゴールド受賞となります。

ブリistol マイヤーズ スクイブは、人材こそが最大の財産であるとの考えのもと、性別、国籍、年齢などのみならず、価値観、考え方、性格、性自認、性的指向など広く個々人の多様性を受け入れています。その一環として、家族の定義を広げ、性別、法的婚姻関係、血縁関係などを問わず、あらゆる社員とその事実上の家族に福利厚生などを適用しています。また、全世界で8つの有志社員ネットワークを組織し、社内外におけるインクルージョンとダイバーシティを推進しています。その1つであるPRIDE Allianceは日本を含む世界21カ国で、LGBTQ+（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーなどの性的マイノリティ）が働きやすい職場環境の構築に取り組んでいます。

今回の「PRIDE 指標 2023」の受賞は、LGBTQ+にとって働きやすい環境の構築と、誰もが平等に扱われるインクルーシブな職場づくりに対する弊社の継続的な取り組みが認められたことを裏付けるものです。また、私たちは、本年5月には、日本におけるLGBT平等法の導入を支持し、性的指向や性自認に基づく差別を禁止し、誰もが平等に扱われるインクルーシブな職場・社会づくりを目指す「ビジネスによるLGBT平等サポート宣言」への賛同も表明しています。

ブリistol・マイヤーズ スクイブの代表取締役社長であるスティーブ・スギノは次のように述べています。「ブリistol マイヤーズ スクイブでは、日本を含むグローバル全体で、すべての社員が自分らしく組織に参加・貢献できる機会を提供することで、イノベーションや相互成長を促す『インクルージョン』、一人ひとりの人材を生かす『ダイバーシティ』の推進に継続的に取り組んでいます。今回、『PRIDE 指標』への初めての申請で最高ランクの『ゴールド』を受賞できたことは、私たちの長年にわたる取り組みが評価された結果であると誇りに思います。今回の受賞に甘んじることなく、今後もインクルージョン&ダイバーシティを推進し、LGBTQ+にとって、より働きやすい環境の構築に努めてまいります。」

「PRIDE 指標」について

企業などの団体において、LGBTQ+に関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」が策定した日本の職場におけるLGBTへの取り組みの評価指標です。詳しくは、「work with Pride」のホームページをご覧ください。

<https://workwithpride.jp/pride-i/>

ブリistol マイヤーズ スクイブについて

ブリistol マイヤーズ スクイブは、深刻な病気を抱える患者さんを助けるための革新的な医薬品を開発し、提供することを使命とするグローバルバイオフーマ企業です。詳細は、bms.com/jp、[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[YouTube](#)、[Instagram](#) をご覧ください。